

事前にいただいたご意見と区の方考え方

平成30年度生野区区政会議(第1回くらしの安全・安心部会)

番号	発言者	ご質問等	回答者	回答
1	辻浦委員	<p>外国籍住民への防災情報の発信について</p> <p>1. 各地域としてどのように取組んだらよいのか。</p> <p>2. 意志の疎通を図るにはどのような方法があるのか。</p>	中村地域まちづくり課長	<p>1. 総務省消防庁が地震の際に最低限何をすればよいのかをまとめた冊子「地震に自信を」(http://www.fdma.go.jp/html/life/jisin2jisin.html 参照)を5か国語(日本語・英語・ハンガール・北京語・ポルトガル語)で作成していますので、これを活用していただいたり、大阪市で、外国語放送を実施している「FM802」と災害発生時における協定を締結し、外国籍住民への情報提供について協力を要請していただいたり、また、災害時避難場所案内板等を多言語表記するなどの取り組みを行っていますので、これらの取り組みを周知していただければと考えています。</p> <p>さらに、生野区では今年度地域自主防災活動支援事業として、WEB版防災ハザードマップ(災害時に必要な避難所等の情報を多言語で表示)を作成する予定でありますので、完成後には合わせて周知していただくことが、有効な取り組みと考えます。</p> <p>2. 大阪市のホームページにおいて、災害時に、コミュニケーションがとれずに困っている人を支援するための絵記号のコミュニケーションボード(http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000330324.html 参照)を紹介しています。外国籍住民に限らず、知的障がい・自閉症等の人や、話せない人、発音がはっきりしない人などが、ボードにある絵記号を指差してコミュニケーションする方法です。</p>